

俺の名前は青木清。探偵だ。

5月ゴールデンウィーク、夏日に、
一本の調査依頼の電話が入った。

「楽楽という店を調べてほしい。」



楽楽のママ

ゴールデンウィーク最終日の5月6日の日曜5時30分を過ぎた頃、俺は栄ビル2階の電光掲示板を見上げた。オレンジ色の電光メッセージは「おふくろの味」と流れている。間違いないこの店だ。

俺は階段を昇った。入口はタッチ式の自動扉。ボタンを押したが開かない。中から感じの良いママが手動で扉を引いた。どうやらこの扉は時々機嫌が悪くなるらしい。店内はカウンター席6席、4人掛用のテーブルが3組、奥に10人程の座敷が設けられている。設置されているテレビでは笑点が放送されていた。

俺は瓶ビールと餃子を注文した。

ママさんが言うには、この店の自慢は野菜料理にあるらしい。なにせママはこの店のほかにも八百屋を営んでおり、野菜を見る目に自信がある。そしてやり手だ。

餃子がやってきた。肉と野菜の旨みが絶妙にからんでおり、皮はパリッとモチモチしている。ビールに餃子はよく似合う。

夜も7時を過ぎ、他のお客でにぎわってきた。俺は今日は早めに切り上げることにした。

俺は店を後にした。まだ明るさの残る空を見上げ「俺にゴールデンウィークは似合わない」とつぶやいてみた。

■居酒屋楽楽

営業 : 夜17:30~24:00

定休日 : 月曜日

住所 : 住所: 神奈川県川崎市多摩区堰3-5-9 栄ビル2F

電話 : 044-812-6770